

※公式ホームページでは施設情報のほかイベントやブログを発信しているほか、旭山動物園だより・あさひやまどうぶつえんみにだよりなど各種発行物を pdf でダウンロードすることができます。



【2024年度・冬期開園期間】 11/11~2025/4/7(月) ※12/30(月)~2025/1/1(祝)は休園です
【開園時間】 午前10:30~午後3:30(最終入園は午後3:00まで)

公式ホームページ



旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎0166-36-1104

動物園の「魚」に注目!

動物園の「魚」に注目!
動物園の「魚」に注目!
動物園の「魚」に注目!
動物園の「魚」に注目!
動物園の「魚」に注目!

「かば館」のプールには、カバの糞を食べる「ティラピア」
水中を歩くカバの百吉のそばにたくさんいるのが、温水を好むティラピア。プールに沈んだカバの糞を食べて暮らしています。カバに食べられないの?と心配する方もいますが、ご安心を。カバは草食動物なので魚は食べません。共生の様子を観察してみてくださいね!



第25回動物

読書感想文コンクールの

作品募集が12/1(日)にスタート

毎年、旭川市内はもちろん、道内外からもたくさんの作品が集まるコンクールとなっている「動物読書感想文コンクール」の作品募集が12/1(日)から始まりました。受賞作品は「入選作品集」としてまとめられ、受賞者の皆さんのほか、旭川市内の小中学校や図書館・公民館に配布しています。作品の応募締切は冬休み明けの1/27(月)となっております。応募用紙と作品を旭山動物園宛てにお送りください。たくさんのご応募、お待ちしております!

応募締切

2025(令和7)年
1月27日(月)必着



応募要領(上)と応募用紙(右)は、公式ホームページからダウンロードできます。ふるって応募ください!



「あざらし館」の水槽には、婚姻色になった「サケ」

マリウエイのそばにある水槽で飼育しているサケが一匹、「ぶなけ」(成熟し、川に遡上するときの色)になりました。この個体は卵から飼育して4年目。大きさは野生のサケと比べ小さいですが、しっかりサケとして育っています!



生きものそれぞれに冬装備・冬対策がありますね!
冬期開園が始まりました。日没時刻も日に日に早くなっています。11/19には20cmほど雪が積まりました。しかも前日の気温差が15℃。どんな生きものも同じだと思ってしまうのですが、急激に変化することへの対応は難しいものです。園内で飼育している動物たちも、時間をかけて冬支度を終わらせたようです。動物図書館でも先日、幼虫から飼育し、サナギになった昆虫たちの越冬準備を終わらせました。プラスチックの飼育ケースから外気温・湿度を感じとれる飼育箱にサナギを移動しました。普段屋外で生きていた生きものにはそれが自然だからです。私たち人間は彼らと生活形態が違います。園内観察をする際は冬装備でお願いたします。



「ペンギン館」の水槽には、繁殖している「トウアカクマノミ」

「ペンギン館」の出口手前にある3つの水槽には、熱帯の海にすむ魚を飼育しています。そのうち「トウアカクマノミ」(写真)と「ハマクマノミ」がそれぞれ繁殖し、産卵もしています。美しさだけでなく生き方も観察してみてくださいね!



※11/2 担当者撮影

←卵塊(らんかい)